

ペリスティルの住宅

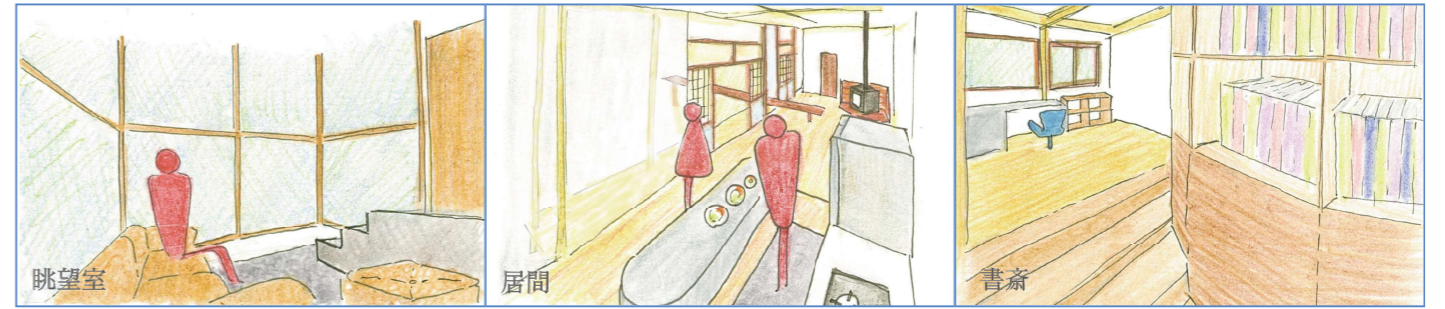
peristyle とは、ローマ建築では主に都会において導入された様式であるが、今回は田舎において敷地全体を使い、大きなスケールでこの考えを用いた。ペリスティル的に要素を散りばめることでその内側の広い空間に密度をもたせた。この空間はそれぞれの建物に居る家族の意識を繋ぐ。都会とは異なる広い敷地で、開放的でありながら高密度な住宅の構想を試みた。

※ペリスティル (peristyle)
ギリシア建築やローマ建築における、柱のあるポーチ、または中庭を取り囲むコロナードで中央に庭園などがあるもの

〈構造・構法〉
主体構造・構法 木造在来工法
基礎 べた基礎

〈規模〉
階数 地上二階建て
敷地面積 587.96㎡
延床面積 156.12㎡

〈素材〉
柱/スギ (眺望室の柱のみヒノキ)
梁や小屋束などの構造材/スギ
床/スギフローリング
机 (居間)/ヒノキ
本棚 (書斎)/ヒノキ
ウッドデッキ/スギ
浴槽/スギ
外壁 (東棟)/スギ皮



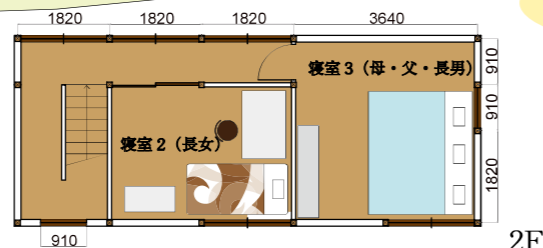
高さ3m、幅7mある大きな開口部により「北側に広がる景色に浸りながら、読書やお酒を飲む」といった幸せなひと時を過ごせる。

おてつ台や薪ストーブ、内部と外部を繋ぐ7mを超える長机が居間にアクセントを加える。また、雪見障子や縁側を通して外部空間に触れる。

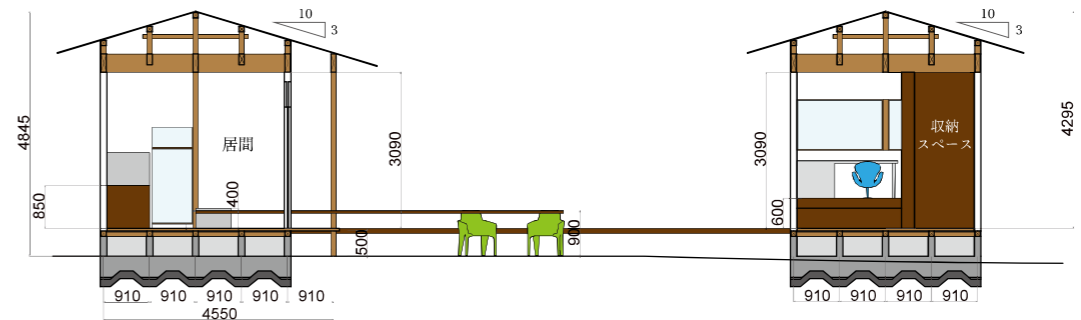
3段の階段が書斎という1つの空間を作り上げる。入口から書斎まで続く本棚が本好きにはたまらない。デスクの目の前の開口部から景観を楽しめる。



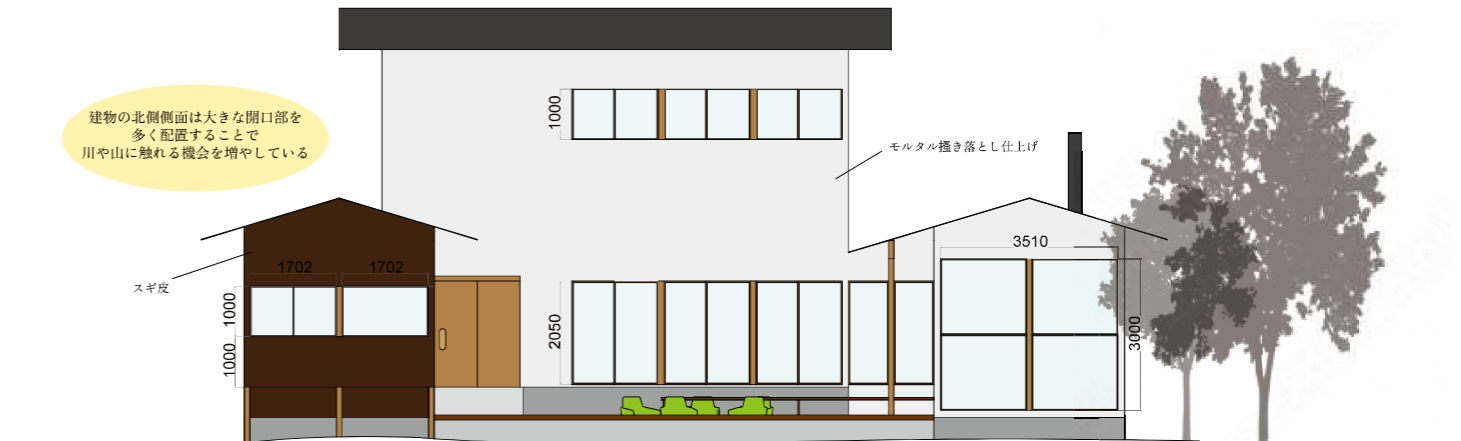
平面図 S=1/100



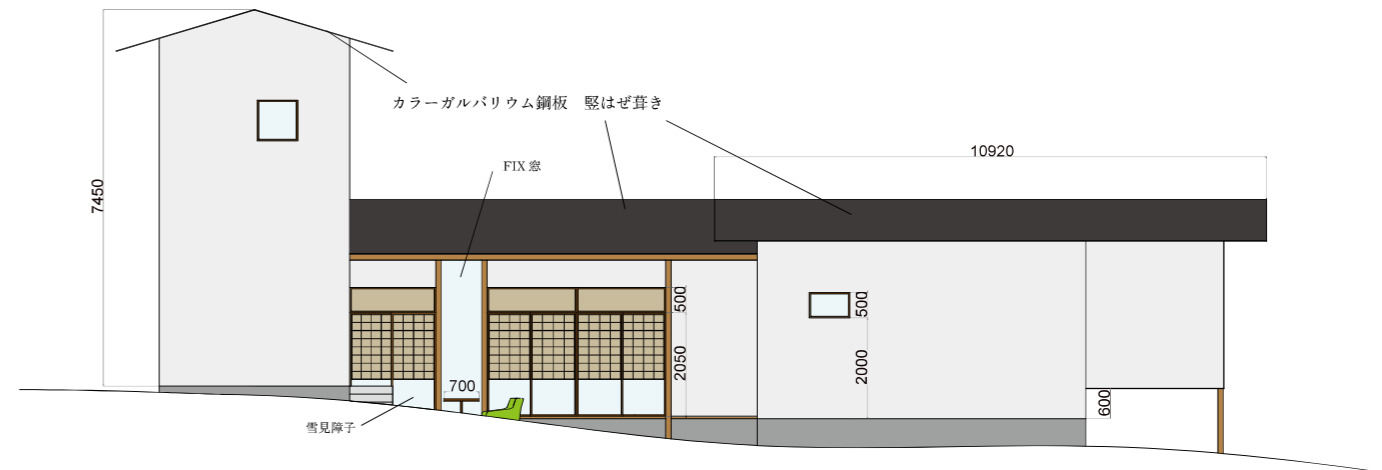
2F



A-A' 断面図 S=1/100



北側平面図 S=1/100



東側断面図 S=1/100

